

第2回江田島市公共交通協議会 (H22.8.5)

協議会議事録				
会議名	平成22年度 第2回江田島市公共交通協議会			
日時	平成22年8月5日(木) 14:30~16:10			
出席者	県立広島大学	名誉教授	のほら けんいち 野原 建一	○
	広島商船高等専門学校	教授	おかやま まさと 岡山 正人	—
	江田島バス株式会社	代表取締役社長	はすだ つとむ 蓮田 勉	○
	江田島バス株式会社	従業員代表	しらいし ひろし 白石 公士	○
	広島県旅客船協会	会長	にった いちろう 仁田 一郎	○
	株式会社ファーストビーチ	船員代表	たにくち みのる 谷口 実	○
	広島県タクシー協会	江能支部支部長	いまみや こうじ 今宮 浩二	○
	江田島市自治会連合会	会長	おがた けんそう 小方 憲三	○
	江田島市老人クラブ連合会	会長	いのこ よしお 猪子 嘉生	○
	江田島市社会福祉協議会	会長	おおつ かつひこ 大津 克彦	○
	江田島市女性会連合会	会長	くまくら まちこ 熊倉 町子	○
	江田島市観光協会	会長	なかしま まさる 中島 勝	○
	中国運輸局海事振興部旅客課	課長	おおしま ほるゆき 大島 治之	○
	中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	やざわ しょうじ 八澤 昭二	○
	広島県企画振興局地域振興部地域政策課	課長	やたがい ひでゆき 八谷 秀幸	代理出席 とくとみ あやこ 徳富 綾子
	江田島警察署	地域交通課長	ささき けんじ 佐々木 憲司	○
	市議会交通問題調査特別委員会	委員長	とち やすのり 登地 靖徳	○
	市議会産業建設常任委員会	委員長	えびす まさのぶ 胡子 雅信	○
	江田島市	副市長	しょうい よしあき 正井 嘉明	○
	江田島市	総務部長	どて さんせい 土手 三生	○
江田島市	土木建築部長	こうの きよし 幸野 潔	○	

1 開 会	
事務局	開会宣言
2 会長あいさつ	
会 長	あいさつ
3 議長の選任について	
事務局	野原委員を議長に選任
4 協 議	
(1) 交通空白不便地域モデル地区における運行計画（案）について	
事務局	－資料1により説明－ 地域の方やタクシー協会江能支部と協議して内容をまとめた。
議 長	10月1日から来年の3月31日までの試験運行ということだが、内容について皆様の御意見を伺いたい。試験運行ではあるが、出来るだけ多くの住民に活用してもらいたい。
委 員	曜日を設定した根拠はあるのか。 運行地域の世帯数や人口、対象となる規模が分かれば知りたい。 主に公共施設、栈橋や医療機関・お店などが乗降ポイントとして挙げられているが、どこが乗る場所なのか考えていれば教えてもらいたい。
事務局	曜日は地域との話し合いの中で決めたが、特にこの曜日でなくてはというわけでもない。違う日が良いようならば見直しを考えたい。 それぞれの地区の人口については詳細データを持ちあわせていない。 乗る場所については、ジャンボタクシーということもあるが、資料の地図ルートの、道路沿いのどこかに出てきてもらうよう、地域の皆さんに十分説明していく。
委 員	1日4往復ということだが、時間の調整は運行を委託する事業者に任せるのか。また今後の見直しについて、半年後ではなく、例えば2ヶ月に一度利用者や地域の方の意見を聴きながら、途中での見直しを検討していくということはあるのか。
事務局	4往復はだいたいダイヤを決めている。何時の便に乗るという予約の仕方をしていただきたい。見直しについては半年後というのではなく、もっと短いスパンで、地域の意見も聴いて行っていきたい。
委 員	週2回の運行では、目的・理想につながりにくいのではないかと。土日を除く週5日運行であれば、デマンドの効果・効率が上がると思うが。
事務局	予算の絡みもあるが、アンケート調査を実施したところ、週1回通院の方が多かったため、そこからのスタートを考えている。将来充実させるとすれば、路線バスとの絡みも考えなければならない。
議 長	ニーズが高まれば、検討する必要がある。

第2回江田島市公共交通協議会（H22.8.5）

委員	事前予約とのことだが、年配の方は特にファックス予約は難しい。当日電話で予約してはいけないのか。また、地域住民への説明はどうするのか。
事務局	登録制度にすることで、名前を聞けば乗る場所が分かるといったように、処理が簡単にできる方法にする。これをルールとしてまずはスタートしたい。説明は自治会長さんに相談するが、集まっていたいで説明することになる。
委員	説明会には、会場に来ることが出来ないという方もあろうが。
事務局	チラシは広報誌にも入れようと考えている。必要であれば近くまで出向くことも可能。
議長	民生委員の力も借りていけば良いのではないかと。予約をキャンセルするのはOKとのことなので、突然行きたいということがないよう、予約を多めに行えば良いと思う。
事務局	運行はタクシー事業者が行うが、当日予約だと定員オーバーになることが怖い。
委員	デマンド利用は、どこまでの人が利用して良いのか。乗務員ひとりでは障害者の介助は出来ない。各地域で十二分すぎるほどの説明が必要。既定のバス業者と競合する場所もあり、バス会社へ批判がいかないような運行の形態をとっていかなければならない。地域・事業者・行政のみの話し合いで済むのかどうかも、十分検討していただきたい。
事務局	十分留意して、いろんなところと調整していきたい。
議長	特に今言われた、障害者に介添えが必要かどうかは、大変大事なこと。是非そういうところを明確にしていきたい。
事業者	介添えが必要な方が利用する場合は、福祉タクシーなどを利用してもらえれば。必要ない方はタクシーやバスと同様に利用していただける。そういう観点からのデマンドではなく、バスの空白時間に走らすのが目的であるため、一般の公共交通機関を利用出来る方を対象にしたい。
委員	事務局が徹底しておかないと、途中で制限をかけたら問題になる。
委員	空白時間のお客様をどうするかという視点であり、この計画で良いと思う。空白地帯の存在自体が市の抱える問題点であり、これらをいかに解決するかの協議なので、こういった形で進めてもらいたい。細かい点を言えば、例えば怪我をした時の保険だとか、予約されたお客様を何分まで待てるかなどあろうが、利用いただく方の意見を聴きながら一番いい方法を見つけていくという姿勢で良いと思う。
委員	使用車両はリースということだが、どういう仕組みか。
事務局	3年間リースの契約を、事業者とリース会社が直接行うこととしており、その費用を協議会で支払う。当初は購入を考えたが、実証試験と

	<p>いうことで、結果デマンド運行が将来的に難しいということになることも想定して、当面はリースとした。</p>
委員	<p>タクシー業者さんにどうだろうかという話になるが、恐らく利用者は同じメンバーの場合が多いであろうから、毎回乗務員が変わるよりは乗務員もなるべく同じ方が、高齢者の方とのコミュニケーションがうまく図れるのではないかと思う。</p>
事業者	<p>当社では、2人から3人の乗務員での対応を考えている。地域でタクシーを運行しているので、お客様の顔を見ればどなたかが大体わかる。</p>
委員	<p>路線定期の運行であろうと思うが、実施が迫っている中で許可申請とかバス停設置とか、事務的に間に合うのか。また、予約がない場合の運行はどうするのか。バスとの競合がないようにしなければならないのと、利用規程を設ける必要がある。</p>
事務局	<p>路線定期での運行ではなく、区域運行で許可申請を行う。運輸支局での標準処理期間が、公共交通協議会で協議された場合は2ヶ月前までとなっているが、運輸支局の担当者において協議承認後速やかに提出することとなっている。</p> <p>また、往復とも予約がない便については、運行は行わない。</p>
議長	<p>うまく利用出来れば、良いものになっていくと思う。それでは承認ということではよろしいか。また気付いたことがあれば、事務局まで。</p>
5 報告	
(1) 平成22年度事業計画の進捗状況について	
事務局	<p>－資料2-1、2-2により説明－</p>
委員	<p>提案だが、最近自治体でツイッターを活用した災害情報提供などの流れがある。これはアクセスすればリアルタイムに情報が流れるもので、アカウント取得に費用は発生しないはず。交通HPの中で、欠航情報などの情報提供に利用してみてもどうか。</p>
事務局	<p>ブログは無料で作成できるとのことで活用を考えている。ツイッターについても今後検討してみる。</p>
委員	<p>西能美航路について、事業者と市との協議は順調か。ダイヤや運航便数など、どういう方向でいくか、つまづきのないスタートをしてもらいたい。</p>
事務局	<p>料金設定については、議会での承認が必要。そのうえで正式な話をする。高速艇100円値下げという方向で進めていこうと考えている。隣接航路との調整もあるが、今のところ順調に進んでいる。ダイヤや便数についても、同じように議会の承認を得て、住民に説明していく。</p>
委員	<p>8月1日に国道375号線で、自転車とバスの接触事故が発生した。島の中には広い道がなく、バスが通るのもいっぱいいっぱいである。</p>

第2回江田島市公共交通協議会（H22.8.5）

	交通事故はあってはならないこと。サイクリングマップ作成に当たっては、交通安全の所轄とも共同しながらやっていく方法を考えたかどうか。
議長	地域内外への喚起をお願いしたい。
委員	明日、議会全員協議会が開催される。今日の議題には海上交通はあまりないが、議会任せというスタンスで良いのか。あるいはもう少しこの協議会で議論する必要があるのか。
議長	議会には議会の手順があるので、そのままが良いと思う。
委員	前回も話したが、事務局がもう少し議会へ説明すべき。料金設定など、議会への十分な説明をお願いしたい。
会長	これまでに、総合連携計画等の資料は全議員に配布し、機会を捉えて説明しており、計画の中身については理解してもらっていると考えている。
委員	デマンド交通について、営業区域内の単位自治会長への説明となっているが、単位自治会長が背負うことに問題がある。住民への説明に時間がない。老人会・女性会なども含めて、説明してもらいたい。沖美町にはまちづくり協議会があるので、広く説明してもらいたい。
議長	全くその意見に賛成である。
事務局	今後、自治会長と協議させてもらいたい。
議長	デマンドの予約など、特に高齢者はやり方がわからない。十分周知し、あらゆる組織から賛同を得てもらいたい。計画どおりスムーズに進み、周知もしっかりされるよう頑張ってもらいたい。
(2) 秋月～呉中央航路における社会実験運航の実施について	
事務局	－資料3より説明－
議長	アンケート調査の結果は興味深い。次回協議会で公表するとのこと。
委員	8月2日の産業建設常任委員会・交通問題調査特別委員会で報告を受けた。事業者に協力をお願いしたいことは、ファーストビーチの小用－呉便にシフトしている可能性があり、そのデータを提供してもらいたい。江田島バスも小用－秋月間の利用状況を、情報提供願いたい。
(3) 航路に関連した動きについて	
事務局	－資料4により説明－
議長	クレアライン無料化社会実験のもたらす効果を知りたい。次回協議会で結果の公表があろう。
委員	西能美航路の高速艇運賃値下げについて、高速艇利用者への理解が未だ十分でない。交通問題調査特別委員会においても、いろいろと問題提起された。協議会でまとめが出来ているか聞いたかった。

第2回江田島市公共交通協議会（H22.8.5）

	<p>利便性は良くなると思うが、運賃については何か良い方法はないか。回数券 12 枚を 13 枚に増やすことは出来ないかと住民から提案があった。チケット制のメリットは、金を直接出さないの、気軽に乗れる点。これにより船の利用が多くなるのではないか。そういった意味でも、再検討の場が欲しかった。</p>
議 長	<p>住民からすると、金の問題は大きな問題である。経営が成り立つ範囲で設定したい。今後議会でも、住民の負担が軽くなるように、引き続き審議してもらいたい。</p>
事務局	<p>料金に関しては、収益改善及び利用者への配慮を目的としている。他航路への影響なども考えないといけない。</p>
議 長	<p>今後、少しでも負担が軽くなる方向で検討することが大切。</p>
会 長	<p>高速艇運賃値下げについては条例改正がかかるので、早急に議会に提案する準備を進めている。今後も見守るという姿勢でお願いしたい。</p>
委 員	<p>フェリーを三高棧橋に集約する計画だが、三高棧橋は駐車場が狭く、急いでいる人が公道に車を置かれたら危険である。事業者や自治会等とも協議してもらいたい。</p>
委 員	<p>議会にお願いなのだが、高速艇料金や回数券など、今の計画以上のことをするのであれば、他の事業者に対しても同じような財政措置してもらいたい。</p>
委 員	<p>西能美航路について、3月29日に自治会・老人クラブ・女性会の代表者に対して説明会を行ったが、その時に説明した高速艇料金 100 円値下げや回数券 12 枚といった事務局案は、今も変更はないか。</p>
事務局	<p>変更していない。議会へはこれで提案していく。</p>
議 長	<p>様々な視点や立場から、意見をいただいた。今後はアンケートの結果から、より良くなるようにしていきたい。</p>
6 その他	
委 員	<p>次回の協議会はいつ開催するか。</p>
事務局	<p>9月に行いたい、議会があるので、9月下旬を予定している。</p>
7 閉 会	